

お買い上げありがとうございます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

製品仕様（改良のため予告なく変更する場合があります。）

- 時 間 精 度：平均月差 ±30 秒以内（気温 25℃で使用した場合）
（電波時計による時刻修正を行わない場合）

※指針（針の位置）誤差
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合がありますが、故障ではありませんのでそのままお使い下さい。
秒針：± 1 秒以内、時・分針：± 3 度以内

■使 用 温 度 範 囲：0 ～ +40℃ ※結露なきこと（外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲）

■使 用 推 奨 電 池：単3形アルカリ乾電池（LR6 1.5V） 1 個
- 電 池 寿 命：約 12 ヶ月（単3形アルカリ乾電池 1 個使用の場合）

■電 波 受 信：40kHz/60kHz のどちらか受信しやすい電波を受信し、現在時刻に合わせる
●自動受信（最多 7 回 / 1 日）●手動受信

■夜間秒針停止機能：午前 0 時 2 分～午前 6 時 2 分の間は、秒針のみ 12 時位置で停止

■保 護 等 級：JIS IP67 相当（防塵 / 防水）

●印刷による制限のため本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

本体のご注意

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

強制

●誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、乳幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受ける。

禁止

●分解や改造をしない
ケガや故障、火災や感電の原因になる。
●故障や破損した状態で使わない
ケガや火災、感電などの原因になる。
●ぬれた手でさわらない
さびや故障、感電の原因になる。
●サウナ、温室など、高温・高温になるところでは使わない
さびや故障、感電の原因になる。
●本体内部に水分や異物を入れない
●火の中に捨てたり加熱しない
●梱包用袋は絶対に被らない

注意

障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容

禁止

●下記のような場所では使わない
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になる。
◆直射日光が当たる所
◆火気のそば
◆暖房機器の風が当たる所
◆温度が +40℃以上の所、または－ 10℃以下の所
◆寒暖差が大きい所
◆ほこりが多く発生する所
◆強い磁気を発生させる機器のそば
◆車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所
◆プール、温泉場などガスの発生する所
◆調理場など多くの油を使用する所
◆色移りや付着、変質の可能性があるため、ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに、長い間、直接ふれさせておかない。
●強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になる。

電池のご注意

危険

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

強制

●誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、乳幼児の手の届く所に置かない
飲み込んだ場合、あるいは飲み込んだ恐れのある場合は、直ちに医師に連絡して指示を受ける。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

禁止

●電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る。
◆電池に傷をつけない。
◆電池をショートさせない。
◆電池を充電しない。
◆電池を加熱しない。
◆電池を火の中に入れない。
◆電池に直接ハンダ付けをしない。
◆⊕と⊖を逆に入れない。
●電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない。
衣服に付着した場合は、すぐに水で洗い流す。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する可能性が高い。
電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取る。
修理が必要な場合は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご相談下さい。

注意

障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容

強制

●電池の⊕⊖を正しく入れる
正しく入れなかった場合、液漏れや発熱の原因となり、ケガや故障の原因になる。

電池について

●電池のご使用上のポイント
◆⊕と⊖を間違えない。
◆時計が動いていても定期的に交換する。
◆長期間使用しないときは機器から電池を取り外す。
◆時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
◆電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●電池の種類について
推奨以外の電池では製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
一部の高性能電池は、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。
充電式電池・リチウム乾電池には対応していません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。
正常に動作していても、製品仕様欄に記載の電池寿命を目途に、電池を交換して下さい。消耗した電池を使い続けると、液漏れが発生する恐れがあります。

電池の交換について

注意

電池からの液漏れにより、時計の修理や設置場所周辺の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守り下さい。

●時計が停止したときは、速やかに新しい電池に交換するか、電池を取り外す。
●時計が動いていても、製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に、定期的に交換する。
※電池着脱の際は、ケガをしないように注意して下さい。

電池・時計の廃棄について

●廃棄の際は、お住いの地区自治体の指定に従って下さい。
●電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁する。
（他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあるため）

お問い合わせ先

ノア精密株式会社 サービスセンター

〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1

TEL:048-933-4080

受付時間:月曜日～金曜日(土・日曜日,祝日,年末年始を除く)
10:00～12:00, 13:00～17:00

※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。
※お問い合わせの際には、型番をお伝え下さい。
※通信にかかる費用はお客様のご負担になります。あらかじめご了承下さい。

https://www.mag-clock.co.jp

各部の名称

本体裏面拡大図

RECボタン

手動受信をするときに使用します。

M.SETボタン

電波を受信できないときなど手動で時刻を合わせるときに使用します。

電池ホルダ

※電池を入れるときは、
⊕側から入れて下さい。
※電池を外すときは、
⊕側から外して下さい。

ガイド

壁掛け部

裏フタ

本体裏面

開ける

閉める

裏フタを閉めるときは、▽印とガイドをしっかりと合わせる

▽印

ガイド

ご使用方法

※裏フタを開閉するときは電池ホルダ内に水や湿気が入り込まないようにご注意下さい。
①時計の裏フタをOPENの矢印の方向に回して開ける
②電池を入れる
単3形乾電池1個を、電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れて下さい。
③初期電波受信を開始
電池を入れると電波受信状態となり、針が早回りをして、正午(12時位置)で一旦停止します。

注意

電波受信中(4～17分間)は針が停止したままになりますが、故障ではありません。
電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ち下さい。

●電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。

●電波受信に失敗した場合、時刻を修正しないで、針は正午(12時位置)より通常の運針を始めます。
本書「電波受信ができなかった場合は…」を参照。
※電波受信に失敗して通常の運針を始めた後、12時16分になると秒針が12時の位置に停止し、再度受信モードに入ります。

④時計の裏フタを本体に対して水平にし、CLOSEの矢印の方向へ回し、▽印とガイドを合わせるようにしっかりと閉める

⑤時計を掛ける
本書「時計の掛け方について」と「電波時計について」を参照。

電波受信ができなかった場合は…

①朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと、受信できる可能性が高くなります。

②設置場所を変える／受信をやり直す
本書「電波時計について」の「電波を受信しにくい環境」を参考にして設置場所を変え、リセット操作をして再度受信をさせる。

③手動で時刻を設定する
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。本書「手動で時刻を設定する」を参照。

注意

電波受信中は、手動による時刻設定はできません。
※電波受信中とは、受信のための時分秒針の運針中または停止中のことです。

①通常運針時(電波受信中外)に、M.SETボタンを秒針が停止するまで押し続ける。
※手動で時刻が設定できる状態になります。

②(秒針が停止中)にM.SETボタンを押す。
※7秒以上何も操作をしないと通常運針を始めます。
※1回押すごとに分針が1分ずつ進みます。ボタンを押し続けると早回りをし、放すと停止します。
※お使い始めの電波受信中の針は、正午(12時位置)で停止します。合わせたい時刻が午前の場合は12時間以上移動させて現在時刻に合わせて下さい。

③手動設定が終了したら、M.SETボタン放して7秒以上待つ。
※手動で時刻を設定した場合、自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。

自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

夜間秒針停止機能について

本製品は内蔵プログラムにより、午前0時2分から午前6時2分までの間は、秒針のみ12時位置で停止します。
※夜間秒針停止中であっても自動受信のときは、秒針が動くことがあります。また時・分針も通常運針以外の動きをする場合がありますが故障ではありません。
※夜間秒針停止機能の解除、停止時間帯の変更はできません。

リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合は、電池を電池ホルダから取り外し、一旦、プラスマイナスを逆にに入れて2秒後に取り出してから、指定の向きに電池を再挿入して下さい。
(この作業をする事によって、内部に残った電流を取り除きます。)
設定されている内容が初期の状態に戻ります。(初期電波受信を開始します。)

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このような場合、リセット操作をして下さい。

電池の交換について

●電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。自動電波受信のときは針がぐるぐる回ります。
このような場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。
※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。

お手入れについて

●プラスチック部品、ガラスをふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふいた後に、カラぶきして下さい。木製部品、金属部品は柔らかい布でカラぶきして下さい。
●ペンジン、アルコール、ミガキ粉、ブラシは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となります。

電波時計について

W734-z-2007

電波時計とは

標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは

情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波です。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はかね山標準電波送信所」の国内2か所にあります。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波の送信停止について

標準電波は毎時15分と45分から各1分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波(送信停止)することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。
海外で使用了場合、ご使用になる場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
●工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
●ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
●鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
●排気口のみの間取りの浴室や水回り
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
●自動車、電車、飛行機などの中
●家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
●スチール机などの金属製家具の上や近く
●朝・夕の時間帯や雨天のとき
※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。

情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jjy.nict.go.jp>

防塵防水機能について

●湿度が100%になる場所(浴室など)でも使用できますが、サウナなどの、温度が40℃以上になる場所や、温泉場のようにガスの発生する場所では使えません。
●工場など、油分が非常に多い場所では使えません。
●外装が汚れた場合は、水の中に10分間くらい浸して洗うことができます。ただし、耐水圧設計ではありませんので、蛇口やホースから直接水をかけないで下さい。
●時計の内部にも多少の湿気(水分)がありますので、外気が時計内部の温度より低い場合は、ガラス面の内側がくもる場合(結露)がありますが、くもりが一時的な場合は時計機械部分に支障はありません。このような場合は裏フタを開けた状態で乾燥した風通しの良い場所で陰干しをして下さい。
●防塵、防水効果を長く保つため、急激な温度変化のある場所(屋外など)での使用は避けて下さい。
●本体の劣化を早めますので、直射日光の当たる場所でのご使用は避けて下さい。
●電池交換などのために裏フタを開閉するときは、乾いた布などで水滴や汚れを十分にふき取り、ケース内に水や湿気が入り込まないようにご注意下さい。

時計の掛け方について

注意

掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

●掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
●時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。
●ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
●落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
●壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
●壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
※材質・構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。

壁掛け部

本体

壁

＜正しい掛け方＞

○

×

＜正面から見た場合＞

OK!

裏フタの上部の穴に通す

＜フック使用イメージ＞

故障かな?と思ったときには…		
症 状	考えられる原因	処 置
針がぐるぐる回る	■電池容量が少ない ■電池を入れた直後の電波の受信の準備中 ■時刻修正中	■新しい電池に交換して下さい。 ■そのままお待ち下さい。 早回りしている針は正午(12時位置)で一旦停止します。電波を受信すると、自動的に針を現在時刻に合わせます。 ※その間ボタン操作はしないで下さい。 ■電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。 本書「電波受信ができなかった場合は」を参照して下さい。
秒針が止まって動かない	■夜間秒針停止中 ■午前/午後を間違えて設定している(手動設定時) ■針がぐるぐる回った直後の電波受信 ■秒針位置の自動補正中	■そのままお待ち下さい。 ※内蔵プログラムにより、午前0時2分から午前6時2分までの間、秒針が12時位置で停止します。 ※午前/午後を間違えて設定すると、日中に夜間秒針停止機能が作動してしまいます。 ※本製品は、秒針位置の誤差を自動で修正します。
時計が動かない	■電池が入っていない ■電池が正しい向きで入っていない ■電池端子の接触不良 ■電池容量が無い	■電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入れて下さい。 ■端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。
時計が止まるまたは遅れる	■電池容量が少ない ■電波障害	■新しい電池に交換して下さい。 ■リセット操作をして下さい。 (本書「リセット操作について」参照)
時分針が早回りした後、動かない	■電波の受信 ■電池容量が無いまたは容量が少ない	■そのまま17分程お待ち下さい。その間ボタン操作はしないで下さい。 ■新しい電池に交換して下さい。